

# 2023 年度(第13 期) 事業報告書

特定非営利活動法人アスイク



## 当法人のミッション・ビジョン等

---

## Mission 私たちの役割

子ども・若者と社会をつなぎ、共助・公助を増やしつづける。

## Vision 目指す社会像

どんな困難にぶつかっても、自分の人生を好きになれる社会。

## Way 私たちの行動原則

- **対等なパートナーシップ**  
市民、企業、行政などマルチステークホルダーとの協働を基盤とする。行政に対しては下請けではなく当事者のニーズを代弁する触媒となり、市民や企業に対しては社会課題への参画、気づきの場を提供する。
- **動きながら作りつづける**  
社会の揺らぎの中から求められることに素早く取り組み、気づきや出会いを通して、必要とされるもの、それまで無かったものを生み出していく。
- **当事者たちから学ぶ**  
当事者の視点から今起きていることを学ぶ。パターンリズムに陥らず、一人ひとりの視点から最善解を一緒に考えていく。

## Values 私たちの価値観

### 受容

自分自身も相手のことも、あるがままに受けとめる。

### 共に考える

一緒に考えることそのものに、意味がある。

### 挑戦

必要だと感じたことは、一歩踏みだして行動してみる。

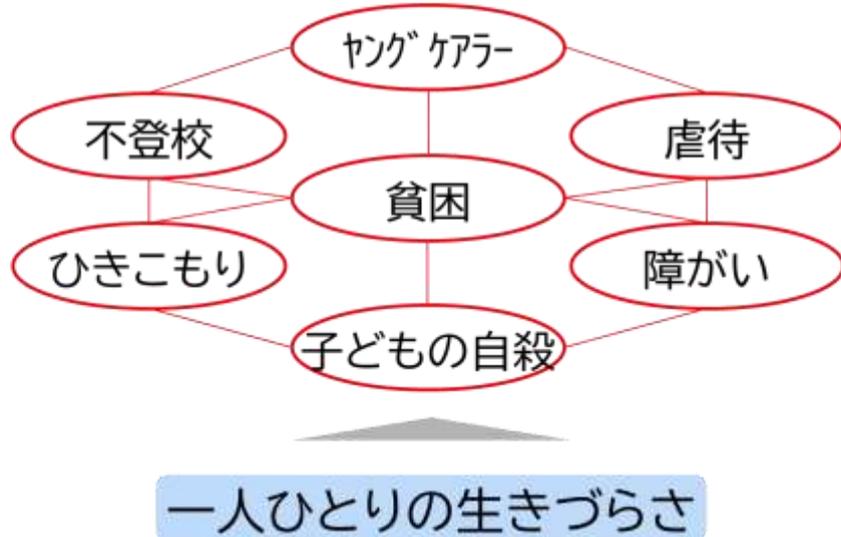
### 楽しむ

相手に楽しんでもらうために、自分たちが楽しいと感じることを大事にする。

## 社会課題:子ども・若者が抱える多様な生きづらさ

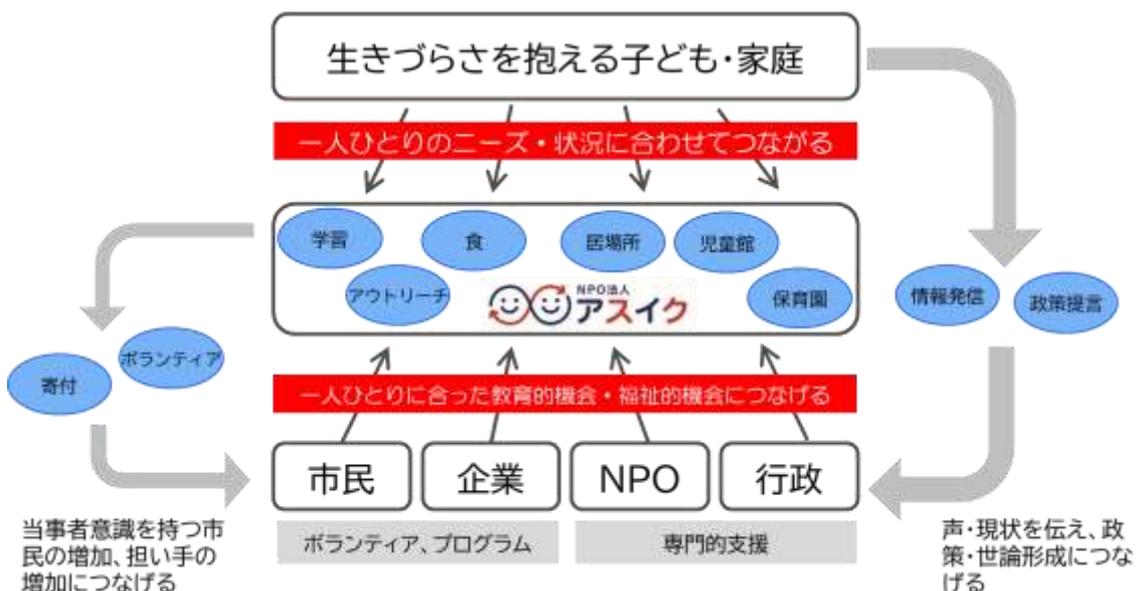
それぞれが相互に結び付きあう子ども・若者の多様な生きづらさに対して、一人ひとりの視点を大事にして向き合っている。

### 社会現象・ラベル・政策課題



## 課題へのアプローチ

生きづらさを抱える子ども・家庭を、さまざまな事業(入口)を通して社会資源と結びつけ、教育的機会、福祉的機会を提供すると同時に、社会の当事者意識を醸成することで社会資源(公助・共助)を増やしていく。

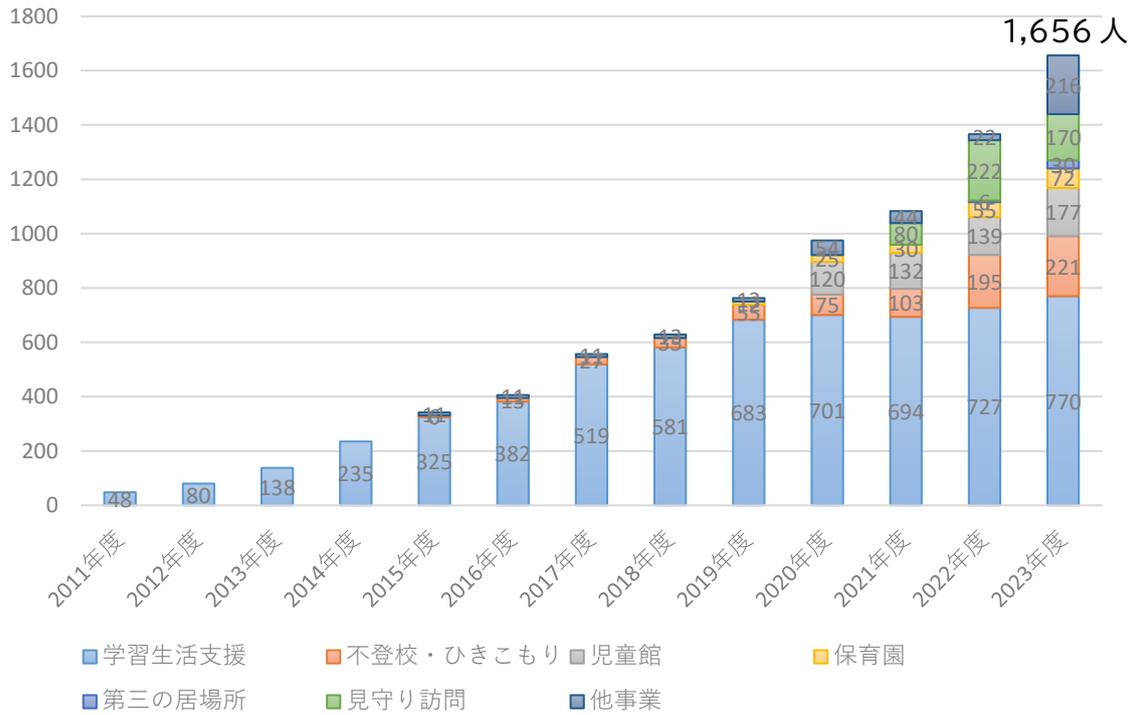


## KPI 等の状況

---

■ 受益者数(子ども・若者)の推移

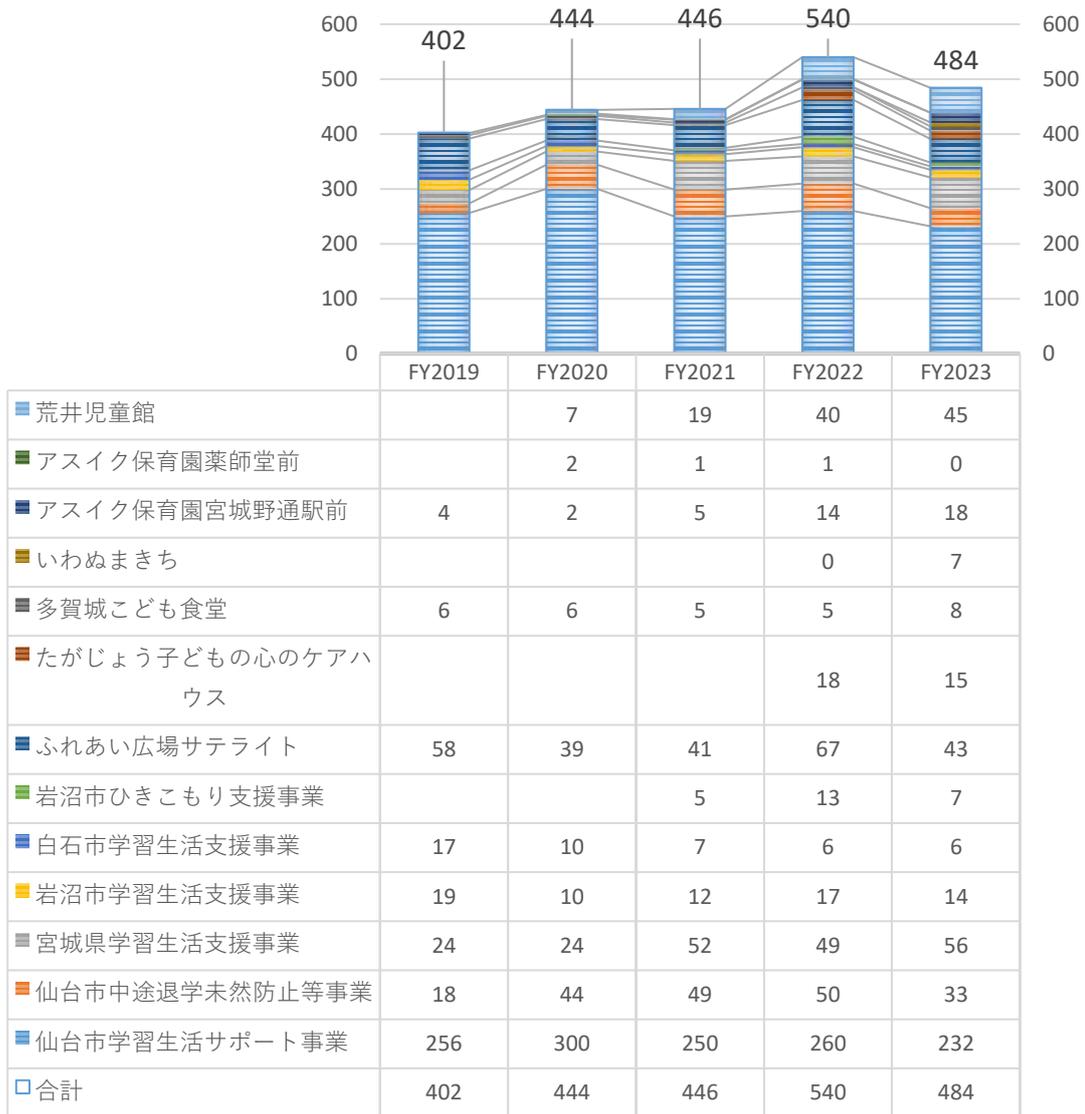
・ ヤングケアラーピアサポートオンラインサロン事業やパントリー事業の実施によって受益者数が増えたことに加え、既存事業の多くも利用者が増加した結果、法人全体の受益者数は過去最高の1,656人となった。



■ 共助の拡大:市民ボランティアとの協働

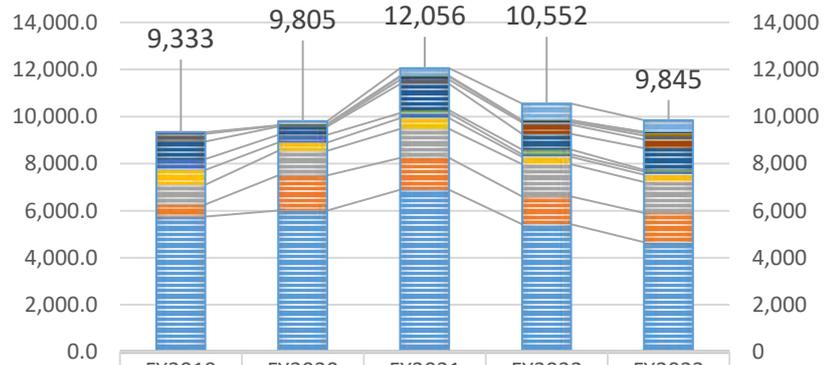
・ ボランティア参加者数は過去最大の登録人数となった昨年度よりも減少し、484 名となった。

<ボランティア登録者数の推移(人)>



< ボランティア参加時間の推移(時間) >

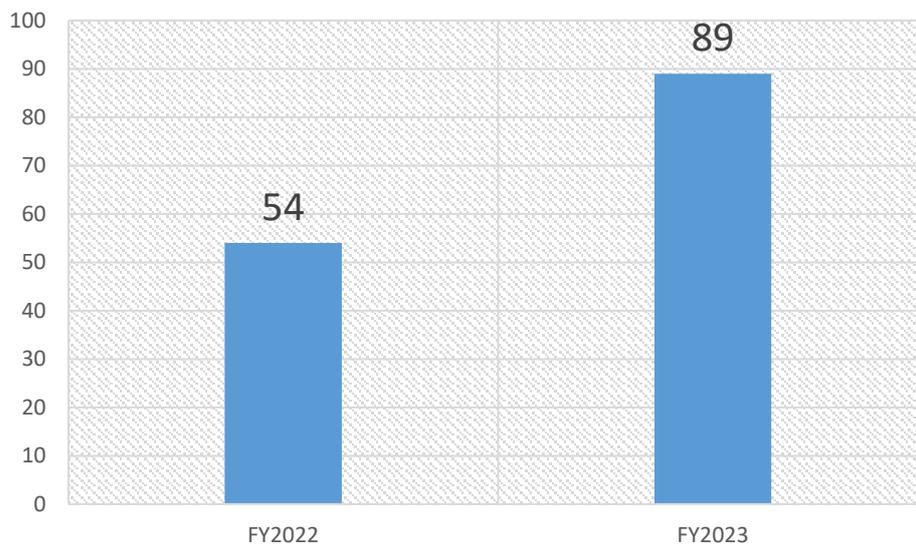
・ もっとも稼働人数の多い仙台市学習生活サポート事業の参加時間数が減少したことが影響し、全体の参加時間数も昨年度よりも減少した。



	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023
■ 荒井児童館		117.5	329.0	712.0	500.0
■ アスイク保育園薬師堂前		57.0	37.0	33.0	0.0
■ アスイク保育園宮城野通駅前	66.5	18.0	129.5	50.0	52.0
■ いわぬまきち				0.0	106.5
■ 多賀城こども食堂	326.6	30.5	173.5	106.0	163.0
■ たがじょう子どもの心のケアハウス				394.0	367.5
■ ふれあい広場サテライト	750.5	365.5	1,121.5	653.5	923.0
■ 岩沼市ひきこもり支援事業			116.0	208.9	69.0
■ 白石市学習生活支援事業	459.1	320.3	216.8	111.0	137.5
■ 岩沼市学習生活支援事業	627.5	349.5	457.5	313.1	317.3
■ 宮城県学習生活支援事業	833.0	1,047.3	1,231.3	1,364.0	1,309.0
■ 仙台市中途退学未然防止等事業	524.5	1,487.5	1,354.0	1,187.5	1,241.0
■ 仙台市学習生活サポート事業	5,745.1	6,011.5	6,889.8	5,419.4	4,659.0
□ 合計時間	9,333	9,805	12,056	10,552	9,845

■ 共助の拡大:企業等との協働

- ・ 全事業を合わせて89件の企業・団体等と協働し、利用者への体験等の機会を提供すると同時に、子どもを取り巻く課題解決にむけた参加の機会を提供した。



協働企業・団体等名	プログラム名等	事業名
ベガルタ仙台	アスイク BOX 設置	11. フードバンクプラス
楽天イーグルス	アスイク BOX 設置	11. フードバンクプラス
鐘崎	アスイク BOX 設置	11. フードバンクプラス
万代	アスイク BOX 設置	11. フードバンクプラス
ファミリーマート	アスイク BOX 設置	11. フードバンクプラス
高橋写真製版	アスイク BOX 設置	11. フードバンクプラス
高橋 正典様 (バリトン歌手)	幻のベスカートルピザを食べよう!!!	14. 多賀城こども食堂
(株) システムズ	e スポーツ体験	12. 仙台市ふれあい広場サテライト
東北大学学友会乗馬部	乗馬体験	12. 仙台市ふれあい広場サテライト
宮城トヨタ自動車株式会社	販売店見学	12. 仙台市ふれあい広場サテライト
ヒューマンアカデミー専門学校	e スポーツ体験、イラスト講座	12. 仙台市ふれあい広場サテライト
(株) 関・空間設計	建築職場体験	12. 仙台市ふれあい広場サテライト
(株) さかき不動産	不動産職場体験	12. 仙台市ふれあい広場サテライト
新国際空手道連盟 芦原会館	空手体験	12. 仙台市ふれあい広場サテライト
JOCA 東北	子育て支援センター職業体験、農業体験	5. 岩沼市ひきこもり支援ステーション事業 (ハッチいわぬま)

布田ファーム	農業体験	5. 岩沼市ひきこもり支援ステーション事業（ハッチいわぬま）
株式会社 にしむら	マクドナルド職業体験	5. 岩沼市ひきこもり支援ステーション事業（ハッチいわぬま）
MORIUMIUS	宿泊・自然体験	6. 岩沼市子ども第三の居場所事業（いわぬまきち）
いわぬまのばちゃんち	昼食・親子料理教室	6. 岩沼市子ども第三の居場所事業（いわぬまきち）
株式会社 CREATIVE STYLE、コープ共済	コープ共済キャラクター「コーすけ」訪問事業	18. アスイク保育園中田町
株式会社 CREATIVE STYLE、コープ共済	コープ共済キャラクター「コーすけ」訪問事業	17. アスイク保育園薬師堂前
株式会社 CREATIVE STYLE、コープ共済	コープ共済キャラクター「コーすけ」訪問事業	16. アスイク保育園宮城野通駅前
あらいあおばこども園	アスイク BOX 設置、トリック・オア・トリートツアー	19. 仙台市荒井児童館
株式会社 HOKUBU	アスイク BOX 設置	19. 仙台市荒井児童館
株式会社コンバスマファクトリー	親子 DIY 教室	19. 仙台市荒井児童館
マッサージセラピスト 坂本 紀乃様	ベビーマッサージ	19. 仙台市荒井児童館
株式会社ユカリエ（シチゴウキッチン）	乳幼児親子向けおにぎり座談会、ハロウィンフェスティバル	19. 仙台市荒井児童館
株式会社未来企画	アフリカトークイベント	19. 仙台市荒井児童館
株式会社乃村工藝社	深沼うみのひろばイベント	19. 仙台市荒井児童館
学生団体 caravan	深沼うみのひろばイベント	19. 仙台市荒井児童館
七郷市民センター	七郷こどもクラブ（親子調理）、トリック・オア・トリートツアー	19. 仙台市荒井児童館
仙台あぐるる農園	いもほり体験	19. 仙台市荒井児童館
平松農園	いもほり体験	19. 仙台市荒井児童館
七郷語り部ボランティア 松木達雄様	あらい劇団フィールドワーク	19. 仙台市荒井児童館
ブルームーン	トリック・オア・トリートツアー	19. 仙台市荒井児童館
萱場商店	トリック・オア・トリートツアー	19. 仙台市荒井児童館
チェルシー	トリック・オア・トリートツアー	19. 仙台市荒井児童館
あそびまショー保育園	トリック・オア・トリートツアー	19. 仙台市荒井児童館
まちのわ図書館	ハロウィンフェスティバル	19. 仙台市荒井児童館
小規模多機能ホーム 福ちゃんの家	ハロウィンフェスティバル	19. 仙台市荒井児童館

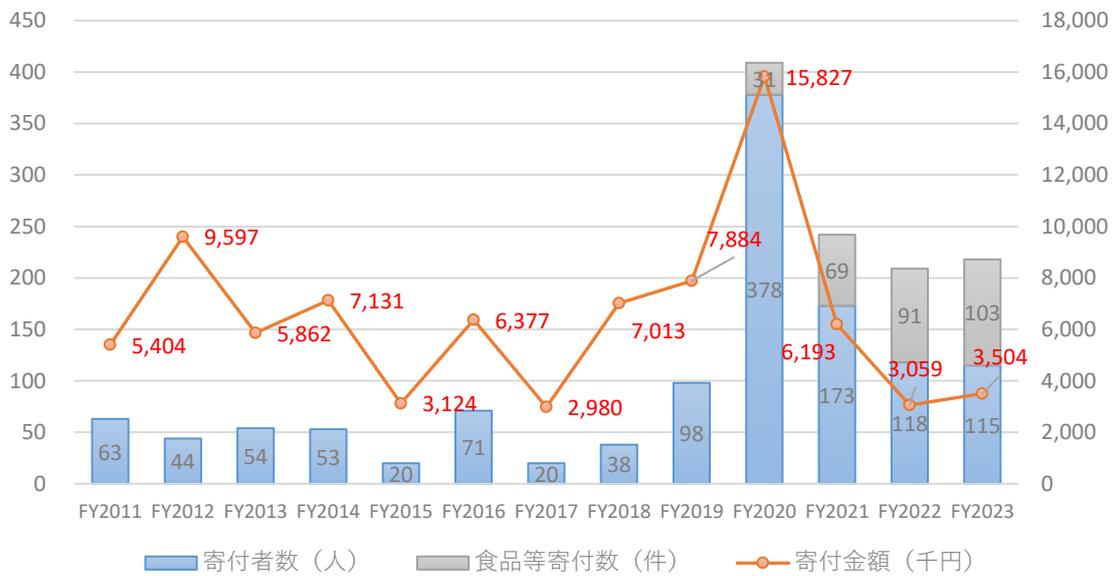
佐藤れいな様	ハロウィンフェスティバル（キーホルダー制作）	19. 仙台市荒井児童館
東北チアプロジェクト COLORS	ハロウィンフェスティバル（チアダンス）	19. 仙台市荒井児童館
京さとみ様	ハロウィンフェスティバル（英語絵本読み聞かせ）	19. 仙台市荒井児童館
七郷中学校	職場体験	19. 仙台市荒井児童館
ノーム芳賀様	手遊び教室	19. 仙台市荒井児童館
七郷児童館	ドッチボール交流戦、乳幼児親子まつり	19. 仙台市荒井児童館
蒲町児童館	乳幼児親子まつり	19. 仙台市荒井児童館
ヨガ講師 Mitsuko 様	親子ヨガ	19. 仙台市荒井児童館
仙台市天文台	星空を見る会	19. 仙台市荒井児童館
パン講師 佐藤まゆみ様	親子パン教室	19. 仙台市荒井児童館
齋藤 佳子様	あらい手話教室	19. 仙台市荒井児童館
とっておきの音楽祭	手話コーラス	19. 仙台市荒井児童館
一般財団法人 ReRoots	薬細工ワークショップ	19. 仙台市荒井児童館
横山 恭子様	ハーブコンサート	19. 仙台市荒井児童館
堀江 梢様	親子アイシングクッキー教室	19. 仙台市荒井児童館
MIFA Football Park	親子サッカー教室	19. 仙台市荒井児童館
和み彩香セラピスト 玉川 智恵子様	カラーボトルセラピー	19. 仙台市荒井児童館
横山 真様	あらい劇団	19. 仙台市荒井児童館
劇団ざくろう	あらい劇団	19. 仙台市荒井児童館
せんだい 3.11 メモリアル交流館	あらい劇団	19. 仙台市荒井児童館
放課後 NPO アフタースクール	オンライン特別プログラム（マジック）、防災プログラム「みんなで守るみんなの命」	19. 仙台市荒井児童館
NPO 法人プラスアーツ	防災プログラム「みんなで守る みんなの命」	19. 仙台市荒井児童館
高橋 恭子様	親子リトミック	19. 仙台市荒井児童館
バルーン工房カラービーンズ	バルーンアート	19. 仙台市荒井児童館
アトリエネオ&陶工房	陶芸	19. 仙台市荒井児童館
atekierM 高橋 美香様	フラワーアレンジメント	19. 仙台市荒井児童館
アロマ講師 若林 愛様	アロマクラフト講座	19. 仙台市荒井児童館
ヨガ講師 細川 玲子様	親子ヨガ	19. 仙台市荒井児童館

高橋 幸様	味噌玉教室	19. 仙台市荒井児童館
ヒューマンアカデミー専門学校	ネイル体験	12. 仙台市ふれあい広場サテライト
株式会社エムズテニスパーク	テニス体験	12. 仙台市ふれあい広場サテライト
米粉パントゥット	パン屋職場体験	13. たがじょう子どもの心のケアハウス
志引保育園	保育園職場体験	13. たがじょう子どもの心のケアハウス
スポーツトレーナー 星 孝幸様	スポーツイベント (月1回)	13. たがじょう子どもの心のケアハウス
ENEOS 仙台製油所	工場見学	13. たがじょう子どもの心のケアハウス
仙台湾燻蒸株式会社 文化事業部/ビルドフルーガス	植物刷り版画で菜づくり	13. たがじょう子どもの心のケアハウス
小斎 理恵様	デザイン教室	5. 岩沼市ひきこもり支援ステーション事業 (ハッチいわぬま)
木村 駿様	漫画教室	5. 岩沼市ひきこもり支援ステーション事業 (ハッチいわぬま)
ホールアース和田祐樹様	アスイクキャンプ	1. 仙台市学習・生活サポート事業
根津整骨院	職業体験プログラム	1. 仙台市学習・生活サポート事業
しんしん鍼灸マッサージ	職業体験プログラム	1. 仙台市学習・生活サポート事業
楽天イーグルス 渡部慎也様	職業体験プログラム	1. 仙台市学習・生活サポート事業
ベガルタ仙台 小野寺仁様	職業体験プログラム	1. 仙台市学習・生活サポート事業
滋慶学園COMグループ	職業体験プログラム	1. 仙台市学習・生活サポート事業
まきばフリースクール	フットサルイベント	1. 仙台市学習・生活サポート事業
宮城教育大学アカペラサークル奏	アカペライベント	1. 仙台市学習・生活サポート事業
東北大学西出ゼミ	お正月イベント	1. 仙台市学習・生活サポート事業
ひのき進学塾	みやぎ模試受験イベント	1. 仙台市学習・生活サポート事業
宮城学院女子大学 済渡 久美様	調理活動イベント	2. 仙台市中途退学未然防止等事業

■ 共助の拡大:寄付による参加

- ・ 資金寄付の寄付者数はほぼ横ばいとなったが、ふれあい広場サテライトで実施した修学旅行クラウドファンディングなどによって寄付金額はやや増加した。
- ・ 食品等の寄付件数は昨年度につづき増加傾向にある。

寄付件数・金額の推移



■ 共助の拡大: 講演・マスコミ等による発信

- ・ 講師等の受託件数は33件で、代表以外が請け負う機会を意図的に増やしている。
- ・ メディアでの掲載は、昨年度に引き続きヤングケアラーや不登校への注目や子ども第三の居場所事業の開所などを背景に、16件(昨年度+3件)となった。

(講演・講師・執筆)

日付	主催	テーマ等	担当者
2023.04.27	全国子どもの貧困教育支援団体協議会	自治体連携研修	大橋
2023.05.11	宮城県アディクション問題研究会	子どもの貧困防止に向けたアスイクの取り組み	大橋
2023.05.19	せんだい・みやぎ NPO センター	ヤングケアラー情報交換会	森川
2023.06.12	宮城県	宮城県教育振興基本計画圏域別意見交換会	大橋
2023.07.03	せんだい豊齢学園	今を生きる子どもたちの生きづらさ	大橋
2023.07.08.	日本ソーシャルワーク学会	「3・11 被災地子ども白書」などを通じた情報発信と事業開発	大橋
2023.07.05	仙台市	要保護児童対策地域協議会代表者会議	吉田彩
2023.08.08	仙台市精神保健福祉総合センター	ひきこもり家族教室	岡崎
2023.07.07	東北文化学園大学	キャリア形成論	森川、中村、舟山
2023.09.14	東北福祉大学	キャリアセミナー	大橋
2023.09.20	宮城野区	宮城野区民生委員研修	森川
2023.10.17	仙台市教育センター	人権教育研修 貧困とヤングケアラー	大橋
2023.10.19	すららネット	FORUM2023	大橋
2023.10.23	仙台市社会福祉協議会	子ども食堂関係機関ネットワーク会議	三浦
2023.10.24	YMCA	管理職研修	大橋
2023.10.31	仙台市社会福祉協議会青葉区事務所	小地域福祉ネットワーク活動研修会	高橋良
2023.10.31	太白区民生委員児童委員協議会	太白区民生委員児童委員協議会全体研修会	千葉
2023.11.10	宮城県精神保健福祉協会	精神保健福祉大会	吉田彩
2023.11.20	宮城県社会福祉協議会	保健福祉行政中堅職員・指導監督者研修	森川
2023.11.30	多賀城市生涯学習課	青少年健全育成研修会 生きづらさを抱える子ども・若者たちの現状	大橋

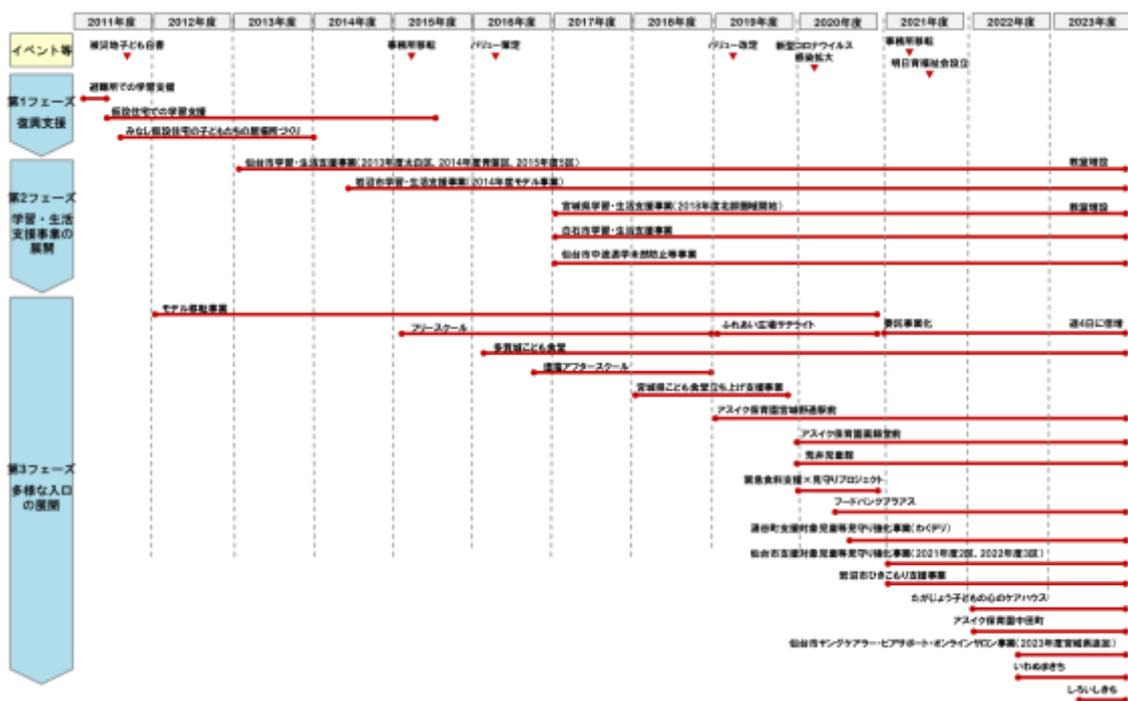
2023.12.07	宮城県高等学校長協会生徒指導 研究委員会	宮城県高等学校長協会制度指導研究委員会講演会	千葉
2023.12.09	河北新報社	次世代塾	大橋
2023.12.20	東北福祉大学	発達・教育心理学特講	大橋
2024.01.16	仙台市	児童虐待講演会	森川
2024.01.21	館地区社会福祉協議会	館地区福祉委員研修会	森川
2024.01.22	宮城県精神保健福祉協会	「精神保健福祉みやぎ 54 号」執筆	平泉
2024.01.23	こども宅食応援団	会員学習会	吉田彩
2024.01.25	名取北高等学校	研修講師	平泉
2024.02.06	全労金	子どもの貧困問題	大橋
2024.02.13	仙台弁護士会	ヤングケアラー学習会	森川
2024.02.16	七中いいねっと	ヤングケアラー研修	森川
2024.03.19	仙台市医師会看護専門学校	いまを生きる子どもたちの生きづらさ	大橋
2024.03.21	鳥取県	子どもの学びの環境等生活困難者対策連絡会議研 修会 こどもの貧困の状況	大橋

(メディア掲載)

日付	媒体	テーマ
2023.4.6	khb 東日本放送	不登校特例校「白石きぼう学園」に関するコメント
2023.05.25	NHK	フードバンクプラス(コロナで不要になった食品活用)
2023.06.07	読売新聞	白石市子ども第三の居場所
2023.07.04	khb 東日本放送	不登校特例校「ろりぼっぴ小学校」に関するコメント
2023.07.23	立憲民主党	岡本あき子衆院議員ヒアリング
2023.08.16	河北新報	ヤングケアラーに関する情報交換会
2023.08.22	J:COM	夏休み明けの不登校に関するコメント
2023.10.02	仙台市政だより	ヤングケアラー特集
2023.10.19	khb 東日本放送	不登校児童生徒数の増加に関するコメント
2023.10.24	ミヤギテレビ	せんだい・みやぎヤングケアラーオンラインサロン
2023.10.21	河北新報	子ども第三の居場所いわぬまきち
2023.12.15	河北新報	「311『伝える／備える』次世代塾
2024.02.05	河北新報	「ヤングケアラー診断サイト」
2024.02.26	ミヤギテレビ	「ヤングケアラー診断サイト」
2024.03.01	NHK	能登半島地震(土田のインタビュー)
2024.03.01	河北新報、東北放送、NHK	子ども第三の居場所しろいしきち開所式

■ 公助の拡大:社会資源の開発

- ・ 白石市、日本財団と協働し、子ども第三の居場所「しろいしきち」を新たに立ち上げた。
- ・ 既存事業である仙台市子どもの学習生活サポート事業、宮城県子どもの学習・生活支援事業は拠点数を合計 8ヶ所増設し、ふれあい広場サテライトは開所日数を 3 拠点とも週 2 日から 4 日に倍増することができた。



■ 公助の拡大:政策等への貢献

- ・ 仙台市、宮城県の子ども・子育て会議の委員や要保護児童対策地域協議会代表者会議など、影響力の大きい委員会等に加わっており、政策等への一定の発信力を持つことができている。

委員会・役割等	担当者
仙台市子ども・子育て会議 委員	大橋
宮城県子ども・子育て会議 委員	大橋
こども家庭庁こどもの貧困・ひとり親家庭支援部会 委員	大橋
仙台市不登校対策検討委員会 委員	大橋
仙台市ひきこもり支援体制評価委員会 委員	大橋
宮城県児童館・放課後児童クラブ連絡協議会 理事	大橋
公益財団法人子どもの貧困対策センターあすのば アドバイザー	大橋
一般社団法人全国子どもの貧困・教育支援団体協議会 理事	大橋
仙台市要保護児童対策地域協議会 代表者会議	吉田彩
蒲町中学校区 学校運営協議会 委員	岡崎
七郷中学校区 学校運営協議会 委員	稲村



## 各事業の実施状況

---



(事業インデックス) ※★は新規事業

1. 仙台市学習・生活サポート事業
2. 仙台市中途退学未然防止等事業
3. 宮城県子どもの学習・生活支援事業
4. 岩沼市子どもの学習・生活支援事業
5. 岩沼市ひきこもり支援ステーション事業(ハッチいわぬま)
6. 岩沼市子ども第三の居場所事業(いわぬまきち)
7. 白石市子どもの学習・生活支援事業
8. 白石市子ども第三の居場所事業(しろいしきち) ★
9. 仙台市支援対象児童等見守り強化事業
10. 涌谷町支援対象児童等見守り強化事業(わくでり)
11. フードバンクプラス
12. 仙台市ふれあい広場サテライト
13. たがじょう子どもの心のケアハウス
14. 多賀城こども食堂
15. 仙台市ヤングケアラーピアサポート・オンラインサロン事業(宮城県追加)
16. アスイク保育園宮城野通駅前
17. アスイク保育園薬師堂前
18. アスイク保育園中田町
19. 仙台市荒井児童館
20. 仙台市市民協働事業提案制度 ★
21. キントーン導入プロジェクト

事業名	1. 仙台市学習・生活サポート事業
事業目的	・ 子どもの貧困の連鎖の解消
事業内容	・ 学習支援、体験の機会づくり、相談支援 ・ 原則生活保護もしくは児童扶養手当全部支給の中学生
今期の主要目標 (定量・定性)	■ 別紙事業目標 ■ サブ意識調査:領域平均各項目 4.0 以上
実施結果	■ 下記参照 ■ サブ意識調査:4.5(6月)、4.5(12月)
備考	取り組みテーマ:体験プログラムの充実による休止率改善(サブサポの協力の拡大)

観点	要素	指標	定義	測定方法	目標値	実績
アウトプット	教室運営 (量的側面)	拠点開設数	何ヶ所の拠点(教室)を開設したか	---	24ヶ所	24ヶ所
		参加者数	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	300人	243人
		リファーマン件数	何人の対象者が関係機関からのリファーマンにより参加したか	参加者リストへの記録	30人	12人
		開催回数	延べ何回(日)の活動を行なったか	記録表による集計	2188回	1993回
	教室運営 (質的側面)	つながり率	登録家庭の内、教室参加もしくは訪問支援、保護者支援等でつながりを維持できている家庭の割合はどの程度か	記録表による集計	100%	78%
		延参加者数	延べ何人の登録者が参加したか	記録表による集計	7000人	6400人
		休止率	どの程度の参加者が途中で休止したか	参加者リストへの記録	25%	32%
		途中退会率	どの程度の参加者が途中で退会したか	参加者リストへの記録	2.5%	0.0%
	ボランティア	参加ボランティア数	何人のボランティアが参加したか	ボランティアリストによる集計	300人	232人
		ボランティア参加時間数	延べ何時間のボランティアが参加したか	記録表による集計	6,000時間	4,659時間
		研修会開催回数	ボランティア・スタッフ向けのフォローアップ研修会を何回開催したか	記録表による集計	4回	4回
	体験プログラム	プログラム開催回数	体験プログラムをいくつ開催したか	記録表による集計	6プログラム	6プログラム
		プログラム参加人数	何人の子どもがプログラムに参加したか	記録表による集計	100人	171人
	保護者支援	保護者の面談件数	保護者に対して、何件の面談を行なったか	記録表による集計	800件	1847件
他機関との連携件数		関係機関と延何件の連携を行なったか	記録表による集計	178件	507件	
アウトカム	学力・学歴	高校進学率	どの程度の割合が高校に進学したか	高校進学者数/参加者数 (中学3年生のみ)	100%	98%

	基礎学力	参加者の基礎学力がどの程度高まったか	参加時の学力診断テストの結果/期末時点の学力診断テストの結果	英語:10点 数学:10点	英語:8.6点 数学:0.5点
自尊心・意欲	学習意欲	参加したことで、学習、自己成長に対する意欲が高まったか	参加者アンケート (肯定回答割合)	70%	78%
	努力意欲	参加したことで、努力したら報われるという意識が高まったか		70%	73%
ソーシャルスキル	社会規範	参加したことで、ルールやマナーを守る意識が高まったか		70%	79%
	コミュニケーション力	参加したことで、多様な人とコミュニケーションする自信が高まったか		70%	82%
福祉依存	自立への意欲	参加したことで、経済的な自立をしようという意識が高まったか		70%	73%
文化資本	進学への意欲	参加したことで、高校に進学しようという意識が生まれたか		70%	79%
健康状態・生活リズム	精神状態の改善	参加したことで、学校や生活の悩みが軽くなったか		70%	76%
	生活習慣の改善	参加したことで、規則正しい生活ができるようになったか		70%	72%
社会への信頼	他者への信頼	参加したことで、人や社会への信頼感が高まったか		70%	73%
ロールモデル	ロールモデル	スタッフやボランティアなどに、目標やあこがれとなる人が見つかったか		70%	82%
保護者との関係	関係性	参加したことで、親子の関係性が良くなったか	参加者アンケート・保護者アンケート	参加者:70% 保護者:70%	参加者:65% 保護者:74%
	将来の話し合い	参加したことで、将来について話し合う機会が増えたか		70%	78%
保護者のストレス	子育てのストレス	参加したことで、子育ての負担感が減ったか	保護者アンケート	70%	82%
満足度	存在の受容	あるがままに受容されたと感じているか	参加者アンケート	90%	90%
	活動への満足度	参加してよかったと感じているか	参加者アンケート・保護者アンケート	参加者:90% 保護者:90%	参加者:94% 保護者:92%
	サポートへの満足度	スタッフ・ボランティアは適切なかわり方や信頼関係の構築ができたか	アンケート	参加者:90% 保護者:90%	参加者:92% 保護者:96%

事業名	2. 仙台市中途退学未然防止等事業
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの貧困の連鎖の解消</li> <li>中学生対象の学習・生活支援事業のアフターフォロー</li> </ul>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>居場所づくり、学習支援、体験の機会づくり、相談支援、訪問支援</li> <li>原則生活保護もしくは児童扶養手当全部支給の中学生</li> </ul>
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 別紙事業目標</li> <li>■ サブ意識調査:領域平均各項目 4.0 以上</li> <li>■ まなびサポート卒業生の登録率:70%</li> </ul>
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 下記参照</li> <li>■ サブ意識調査:4.3(6月)、4.5(12月)</li> <li>■ まなびサポート卒業生の登録率:60%(198/330人)</li> </ul>
備考	

観点	要素	指標	定義	測定方法	目標値	実績	
アウトプット	教室運営 (量的側面)	拠点開設数	何ヶ所の拠点(教室)を開設したか	—	3ヶ所	3ヶ所	
		参加者数(拠点)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	120人	231人	
		参加者数(訪問支援)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	12人	41人	
	教室運営 (質的側面)	サポート参加延人数	延べ何人がサポートに参加したか		記録表による集計	2600人	2191人
		途中退会率	どの程度の参加者が途中で退会したか		参加者リストへの記録	2.5%	0.0%
		参加ボランティア数	何人のボランティアが参加したか		ボランティアリストによる集計	40人	33人
	ボランティア	ボランティア参加時間	延べ何時間のボランティアが参加したか		記録表による集計	1,300時間	1241時間
		研修会開催回数	ボランティア・スタッフ向けのフォローアップ研修会を何回開催したか		記録表による集計	4回	4回
	体験プログラム	プログラム開催回数	体験プログラムをいくつ開催したか		記録表による集計	6プログラム	8プログラム
		プログラム参加人数	何人の子どもがプログラムに参加したか		記録表による集計	60人	102人
	保護者支援	保護者の面談件数	保護者に対して、何件の面談を行なったか		記録表による集計	276件	819件
		他機関との連携件数	関係機関と延何件の連携を行なったか		記録表による集計	61件	505件
	アウトカム	学力・学歴	高校中退率	どの程度の割合が高校を中退したか ※学習生活サポート事業卒業生のみ	中退者数/登録者数(高校年代)	3%	1.8%
高校中退者の社会接続率			中退した高校生の何割が教育機関、就労支援機関、福祉施設等の社会資源につながったか ※当事業への参加を含む	社会資源へのつながり数/中退者数	100%	100%	

事業名	3. 宮城県子どもの学習・生活支援事業
事業目的	・ 子どもの貧困の連鎖の解消
事業内容	・ 学習支援(対面・オンライン)、体験の機会づくり、相談支援、訪問支援 ・ 生活保護、就学援助、児童扶養手当支給等に該当する小学4年生～20歳程度
今期の主要目標 (定量・定性)	■ 別紙事業目標 ■ サブ意識調査:領域平均各項目 4.0 以上
実施結果	■ 下記参照 ■ サブ意識調査:4.4(6月)、4.3(12月)
備考	

観点	要素	指標	定義	測定方法	目標値	実績
アウトプット	教室運営 (量的側面)	拠点開設数	何ヶ所の拠点(教室)を開設したか	—	15ヶ所	15ヶ所
		参加者数(拠点)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	240人	223人
		リファーマ件数	何人の対象者が関係機関からのリファーマにより参加したか	参加者リストへの記録	20人	6人
		参加者数(訪問支援)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	10人	39人
		開催回数	延べ何回(日)の活動を行なったか	記録表による集計	400回	899回
	教室運営 (質的側面)	つながり率	登録家庭の内、教室参加もしくは訪問支援、保護者支援等でつながりを維持できている家庭の割合はどの程度か	記録表による集計	100%	74.7%
		延参加者数	延べ何人の登録者が参加したか	記録表による集計	2400人	3397人
		休止率	どの程度の参加者が途中で休止したか	参加者リストへの記録	25%	40.6%
		途中退会率	どの程度の参加者が途中で退会したか	参加者リストへの記録	2.5%	0.4%
	ボランティア	参加ボランティア数	何人のボランティアが参加したか	ボランティアリストによる集計	33人	56人
		ボランティア参加時間	延べ何時間のボランティアが参加したか	記録表による集計	1300時間	1309時間
		研修会開催回数	ボランティア・スタッフ向けのフォローアップ研修会を何回開催したか	記録表による集計	4回	4回
	体験プログラム	プログラム開催回数	体験プログラムをいくつ開催したか	記録表による集計	6プログラム	12プログラム
		プログラム参加人数	何人の子どもがプログラムに参加したか	記録表による集計	90人	111人

	保護者支援	保護者の面談件数	保護者に対して、何件の面談を行なったか	記録表による集計	455 件	2060 件	
		他機関との連携件数	関係機関と延何件の連携を行なったか	記録表による集計	101 件	470 件	
アウトカム	学力・学歴	高校進学率	どの程度の割合が高校に進学したか	高校進学者数/参加者数(中学3年生のみ)	100%	98%	
		高校中退率	どの程度の割合が高校を中退したか	中退者数/登録者数(高校年代)	3%	4.5%	
		高校中退者の社会 接続率	中退した高校生の何割が教育機関、就 労支援機関、福祉施設等の社会資源に つながったか	社会資源へのつながり数/中退者数	100%	100%	
		基礎学力	参加者の基礎学力がどの程度高まった か	参加時の学力診断テストの結果/期末時点 の学力診断テストの結果	英語:10 点 数学:10 点	英語:7.1 点 数学:2.2 点	
	自尊心・意欲	学習意欲	参加したことで、学習、自己成長に対す る意欲が高まったか	参加者アンケート (肯定回答割合)	70%	80%	
		努力意欲	参加したことで、努力したら報われるとい う意識が高まったか		70%	80%	
	ソーシャルスキ ル	社会規範	参加したことで、ルールやマナーを守る 意識が高まったか		70%	79%	
		コミュニケーションカ ンピテンシー	参加したことで、多様な人とコミュニケー ションする自信が高まったか		70%	76%	
	福祉依存	自立への意欲	参加したことで、経済的な自立をしようと いう意識が高まったか		70%	70%	
	文化資本	進学への意欲	参加したことで、高校に進学しようという 意識が生まれたか		70%	67%	
	健康状態・ 生活リズム	精神状態の改善	参加したことで、学校や生活の悩みが軽 くなったか		70%	83%	
		生活習慣の改善	参加したことで、規則正しい生活ができる ようになったか		70%	83%	
	社会への信頼	他者への信頼	参加したことで、人や社会への信頼感が 高まったか		70%	77%	
	ロールモデル	ロールモデル	スタッフやボランティアなどに、目標やあ こがれとなる人が見つかったか		70%	83%	
	保護者との関係	関係性	参加したことで、親子の関係性が良くなっ たか		参加者アンケート・保護者アンケート	参加者:70% 保護者:70%	参加者:73% 保護者:71%
		将来の話し合い	参加したことで、将来について話し合う機 会が増えたか		保護者アンケート	70%	65%

保護者のストレス	子育てのストレス	参加したことで、子育ての負担感が減ったか		70%	79%
満足度	存在の受容	あるがままに受容されたと感じているか	参加者アンケート	90%	83%
	活動への満足度	参加してよかったと感じているか	参加者アンケート・保護者アンケート	参加者:90%	参加者:97%
	サポートへの満足度	スタッフ・ボランティアは適切なかわり方や信頼関係の構築ができたか		参加者:90%	参加者:96%
				保護者:90%	保護者:92%

事業名	4. 岩沼市子どもの学習・生活支援事業
事業目的	子どもの貧困の連鎖の解消
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習支援、体験の機会づくり、相談支援、訪問支援</li> <li>生活保護、就学援助、児童扶養手当支給等に該当する小学4年生～20歳程度</li> </ul>
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>別紙事業目標</li> <li>サブ意識調査:領域平均各項目 4.0 以上</li> </ul>
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>下記参照</li> <li>サブ意識調査:4.4(6月)、4.5(12月)</li> </ul>
備考	

観点	要素	指標	定義	測定方法	目標値	実績
アウトプット	教室運営 (量的側面)	拠点開設数	何ヶ所の拠点(教室)を開設したか	—	1ヶ所	1ヶ所
		参加者数(拠点)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	50人	47人
		リファアー件数	何人の対象者が関係機関からのリファアーにより参加したか	参加者リストへの記録	5人	3人
		参加者数(訪問支援)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	2人	4人
		開催回数	延べ何回(日)の活動を行なったか	記録表による集計	200回	189回
	教室運営 (質的側面)	つながり率	登録家庭の内、教室参加もしくは訪問支援、保護者支援等でつながりを維持できている家庭の割合はどの程度か	記録表による集計	100%	74.6%
		延参加者数	延べ何人の登録者が参加したか	記録表による集計	840人	1323人
		休止率	どの程度の参加者が途中で休止したか	参加者リストへの記録	25%	32.6%
		途中退会率	どの程度の参加者が途中で退会したか	参加者リストへの記録	2.5%	2.1%
	ボランティア	参加ボランティア数	何人のボランティアが参加したか	ボランティアリストによる集計	12人	14人
		ボランティア参加時間	延べ何時間のボランティアが参加したか	記録表による集計	400時間	317.3時間
		研修会開催回数	ボランティア・スタッフ向けのフォローアップ研修会を何回開催したか	記録表による集計	4回	4回
	体験プログラム	プログラム開催回数	体験プログラムをいくつ開催したか	記録表による集計	6プログラム	11プログラム
		プログラム参加人数	何人の子どもがプログラムに参加したか	記録表による集計	25人	29人
	保護者支援	保護者の面談件数	保護者に対して、何件の面談を行なったか	記録表による集計	115件	150件
		他機関との連携件数	関係機関と延何件の連携を行なったか	記録表による集計	26件	48件

アウトカム	学力・学歴	高校進学率	どの程度の割合が高校に進学したか	高校進学者数/参加者数 (中学3年生のみ)	100%	80%	
		高校中退率	どの程度の割合が高校を中退したか	中退者数/登録者数(高校年代)	3%	3.8%	
		高校中退者の社会接続率	中退した高校生の何割が教育機関、就労支援機関、福祉施設等の社会資源につながったか	社会資源へのつなぎ数/中退者数	100%	0%	
		基礎学力	参加者の基礎学力がどの程度高まったか	参加時の学力診断テストの結果/期末時点の学力診断テストの結果	英語:10点 数学:10点	英語:7.5点 数学:9.6点	
	自尊心・意欲	学習意欲	参加したことで、学習、自己成長に対する意欲が高まったか	参加者アンケート (肯定回答割合)	70%	78%	
		努力意欲	参加したことで、努力したら報われるという意識が高まったか		70%	74%	
	ソーシャルスキル	社会規範	参加したことで、ルールやマナーを守る意識が高まったか		70%	65%	
		コミュニケーション力	参加したことで、多様な人とコミュニケーションする自信が高まったか		70%	70%	
	福祉依存	自立への意欲	参加したことで、経済的な自立をしようという意識が高まったか		70%	56%	
	文化資本	進学への意欲	参加したことで、高校に進学しようという意識が生まれたか		70%	65%	
	健康状態・生活リズム	精神状態の改善	参加したことで、学校や生活の悩みが軽くなったか		70%	82%	
		生活習慣の改善	参加したことで、規則正しい生活ができるようになったか		70%	74%	
	社会への信頼	他者への信頼	参加したことで、人や社会への信頼感が高まったか		70%	65%	
	ロールモデル	ロールモデル	スタッフやボランティアなどに、目標やあこがれとなる人が見つかったか		70%	74%	
	保護者との関係	関係性	参加したことで、親子の関係性が良くなったか		参加者アンケート・保護者アンケート	参加者:70%	参加者:69%
		将来の話し合い	参加したことで、将来について話し合う機会が増えたか			保護者:70%	保護者:84%
保護者のストレス	子育てのストレス	参加したことで、子育ての負担感が減ったか	保護者アンケート		70%	58%	
満足度	存在の受容	あるがままに受容されたと感じているか	参加者アンケート		90%	82%	
	活動への満足度	参加してよかったと感じているか	参加者アンケート・保護者アンケート		参加者:90%	参加者:91%	
	サポートへの満足度	スタッフ・ボランティアは適切なかかわり方や信頼関係の構築ができたか			保護者:90%	保護者:83%	
			参加者アンケート	参加者:90%	参加者:87%		
			保護者:90%	保護者:83%			

事業名	5. 岩沼市ひきこもり支援ステーション事業(ハッチいわぬま)
事業目的	ひきこもり状態にある方の自立支援
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別相談、家族会、アウトリーチ、居場所づくり、体験の機会づくり等</li> <li>対象:岩沼市に居住するひきこもり状態にある本人と家族</li> </ul>
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数:60人</li> <li>相談件数:150件</li> <li>アウトリーチ件数:延40件</li> <li>家族のつどい参加人数:延30人</li> <li>居場所参加者数:延650人</li> <li>イベント参加者数:延100人</li> <li>社会接続:延40人</li> </ul>
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>下記参照</li> </ul>
備考	

内容 実施	指標	詳細	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者数	月末総数(人)		45	47	47	48	49	51	53	54	55	57	59	59	59	
	(内)新規		0	2	0	1	1	2	2	1	1	2	2	0		
個別 相談	相談件数 (新規)	合計	0	2	0	1	1	2	2	0	0	1	2	0	12	
		本人	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		家族のみ	0	2	0	0	1	2	2	1	0	1	2	0	11	
	相談経路 (新規)	本人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		家族	0	2	0	0	1	1	2	1	0	1	1	0	9	
		関係機関	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	3	
	相談件数: 本人(延数)	合計	10	11	16	13	12	6	9	5	6	11	22	17	138	
		対面	1	2	2	0	1	4	2	2	3	3	6	5	31	
		電話	0	1	3	0	0	0	1	0	0	0	1	1	7	
		メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		LINE	9	8	11	13	11	2	6	3	3	8	15	11	100	
	相談件数: その他(延数)	合計	10	15	21	11	19	22	16	31	30	21	10	21	227	
		対面	5	7	5	0	1	3	1	2	2	2	1	0	29	
		電話	4	5	7	5	12	11	8	7	11	17	5	10	102	
		メール	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	6	9	
LINE		1	3	9	6	4	7	7	22	17	2	4	5	87		

	相談件数	実数	13	17	16	13	22	20	15	13	19	19	17	17	201
アウトリーチ	対応件数	新規	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		実数	2	1	3	3	1	3	1	3	3	3	4	3	7
		延数	2	1	4	3	1	5	2	6	5	5	6	6	<u>46</u>
	居場所等への移行件数		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
家族の集い	実施回数		0	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	10
	参加者数	新規	0	2	0	8	0	0	0	0	1	1	2	0	14
		延数	0	6	2	11	5	7	0	2	3	2	5	8	<u>51</u>
居場所	開催回数		12	12	13	12	12	13	13	12	12	12	11	12	146
	参加者数	実数	11	10	10	10	10	10	10	10	10	11	10	10	14
		延数	70	71	55	66	55	65	62	59	49	48	38	41	<u>679</u>
	イベント参加者	実数	7	9	5	10	8	9	7	10	9	6	7	6	14
		延数	10	20	5	22	16	14	16	19	19	9	10	11	<u>171</u>
その他	社会への接続	合計	0	3	5	7	4	5	4	4	4	3	7	4	<u>50</u>
		制度 (障害福祉・ 生活保護等)	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	5
		社会参加 (ボランティア・ 就労等)	0	2	2	5	3	4	3	3	4	3	7	3	39
		その他	0	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	1	6

事業名	6. 岩沼市子ども第三の居場所事業(いわぬまきち)
事業目的	貧困等により養育困難な状態にある子どもたちや家庭を社会ではぐくむ。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象:家庭や自身に課題を抱えた小学生等</li> <li>・ 居場所での学習・遊び・生活の支援、体験の機会づくり、家庭への相談支援</li> </ul>
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 利用者数:15 名以上</li> <li>■ 体験プログラム:12 回以上</li> <li>■ ボランティア:10 名以上</li> </ul>
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 利用者数:17 名</li> <li>■ 体験プログラム:延 33 回</li> <li>■ ボランティア:3 名</li> </ul>
備考	

事業名	7. 白石市子どもの学習・生活支援事業
事業目的	子どもの貧困の連鎖の解消
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習支援、体験の機会づくり、相談支援、訪問支援</li> <li>生活保護、就学援助、児童扶養手当支給等に該当する小学4年生～20歳程度</li> </ul>
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>別紙事業目標</li> <li>サブ意識調査:領域平均各項目 4.0 以上</li> </ul>
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>下記参照</li> <li>サブ意識調査:4.7(6月)、4.7(12月)</li> </ul>
備考	

観点	要素	指標	定義	測定方法	目標値	実績
アウトプット	教室運営 (量的側面)	拠点開設数	何ヶ所の拠点(教室)を開設したか	---	1ヶ所	1ヶ所
		参加者数(拠点)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	20人	26人
		リファアー件数	何人の対象者が関係機関からのリファアーにより参加したか	参加者リストへの記録	2人	2人
		参加者数(訪問支援)	何人の対象者が参加したか	参加者リストへの記録	4人	11人
		開催回数	延べ何回(日)の活動を行なったか	記録表による集計	100回	95回
	教室運営 (質的側面)	つながり率	登録家庭の内、教室参加もしくは訪問支援、保護者支援等でつながりを維持できている家庭の割合はどの程度か	記録表による集計	100%	70.3%
		延参加者数	延べ何人の登録者が参加したか	記録表による集計	840人	342人
		休止率	どの程度の参加者が途中で休止したか	参加者リストへの記録	25%	51.5%
		途中退会率	どの程度の参加者が途中で退会したか	参加者リストへの記録	25%	3.8%
	ボランティア	参加ボランティア数	何人のボランティアが参加したか	ボランティアリストによる集計	6人	6人
		ボランティア参加時間	延べ何時間のボランティアが参加したか	記録表による集計	200時間	137.5時間
		研修会開催回数	ボランティア・スタッフ向けのフォローアップ研修会を何回開催したか	記録表による集計	4回	4回
	体験プログラム	プログラム開催回数	体験プログラムをいくつ開催したか	記録表による集計	6プログラム	11プログラム
		プログラム参加人数	何人の子どもがプログラムに参加したか	記録表による集計	10人	5人
	保護者支援	保護者の面談件数	保護者に対して、何件の面談を行なったか	記録表による集計	46件	141件
他機関との連携件数		関係機関と延何件の連携を行なったか	記録表による集計	10件	47件	
アウトカム	学力・学歴	高校進学率	どの程度の割合が高校に進学したか	高校進学者数/参加者数(中学3年生のみ)	100%	100%

	高校中退率	どの程度の割合が高校を中退したか	中退者数/登録者数(高校年代)	3%	0%
	高校中退者の社会接続率	中退した高校生の何割が教育機関、就労支援機関、福祉施設等の社会資源につながったか	社会資源へのつなぎ数/中退者数	100%	----
	基礎学力	参加者の基礎学力がどの程度高まったか	参加時の学力診断テストの結果/期末時点の学力診断テストの結果	英語:10点 数学:10点	英語:13点 数学:17点
自尊心・意欲	学習意欲	参加したことで、学習、自己成長に対する意欲が高まったか	参加者アンケート (肯定回答割合)	70%	80%
	努力意欲	参加したことで、努力したら報われるという意識が高まったか		70%	100%
ソーシャルスキル	社会規範	参加したことで、ルールやマナーを守る意識が高まったか		70%	100%
	コミュニケーション力	参加したことで、多様な人とコミュニケーションする自信が高まったか		70%	100%
福祉依存	自立への意欲	参加したことで、経済的な自立をしようという意識が高まったか		70%	100%
文化資本	進学への意欲	参加したことで、高校に進学しようという意識が生まれたか		70%	80%
健康状態・生活リズム	精神状態の改善	参加したことで、学校や生活の悩みが軽くなったか		70%	80%
	社会への信頼	他者への信頼		参加したことで、人や社会への信頼感が高まったか	70%
ロールモデル	ロールモデル	スタッフやボランティアなどに、目標やあこがれとなる人が見つかったか		70%	100%
保護者との関係	関係性	参加したことで、親子の関係性が良くなったか		参加者アンケート・保護者アンケート	参加者:70% 保護者:70%
	将来の話し合い	参加したことで、将来について話し合う機会が増えたか	保護者アンケート	70%	100%
保護者のストレス	子育てのストレス	参加したことで、子育ての負担感が減ったか	70%	75%	
満足度	存在の受容	あるがままに受容されたと感じているか	参加者アンケート	90%	100%
	活動への満足度	参加してよかったと感じているか	参加者アンケート・保護者アンケート	参加者:90% 保護者:90%	参加者:100% 保護者:100%
	サポートへの満足度	スタッフ・ボランティアは適切なかかわり方や信頼関係の構築ができたか		参加者:90% 保護者:90%	参加者:100% 保護者:100%

事業名	8. 白石市子ども第三の居場所事業(しろいしきち)
事業目的	貧困等により養育困難な状態にある子どもたちや家庭を社会ではぐくむ。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象:家庭や自身に課題を抱えた小学生等</li> <li>・ 居場所での学習・遊び・生活の支援、体験の機会づくり、家庭への相談支援</li> </ul>
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 2月頃までの開所</li> <li>■ 利用者数:10名以上</li> <li>■ 体験プログラム:1回以上</li> </ul>
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 3/1に開所</li> <li>■ 利用者数:13名</li> <li>■ 体験プログラム:0回(3月は新規利用者の受け入れ調整が中心だったため)</li> </ul>
備考	



(開所式の様子)



(施設の風景)

事業名	9. 仙台市支援対象児童等見守り強化事業
事業目的	食品を活用して要保護児童等への訪問支援をすることで、行政ではつながれない、対応しきれない家庭の見守りを行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象:太白区、青葉区、泉区に居住する未就学児～高校生年代の子どものいる家庭</li> <li>定期的な食品提供をキッカケにした訪問支援による子どもの見守り、保護者の相談支援等</li> </ul>
今期の主要目標 (定量・定性)	■ 別紙事業目標
実施結果	■ 下記参照
備考	

<青葉区・泉区>

観点	要素	指標	定義	測定方法	目標値	実績
アウト プット	量的要素	利用者実数	当事業を利用した世帯数、児童数	記録表による集計	---	31 世帯
		延訪問支援数	当事業により訪問を行った延件数	記録表による集計	500 件	501 件
アウト カム	自治体の 視点	発見	養育上の課題を抱えていながら、周囲から気づかれていない家庭の発見効果がどの程度あったか	事例記述、該当事例のカウン	---	8 件
		情報収集	関係機関が把握していない生活状況等の情報を把握する効果がどの程度あったか	事例記述、該当事例のカウン	---	22 件
		安全確認	虐待や自殺企図等のリスクの高い世帯の見守り効果がどの程度あったか	事例記述、該当事例のカウン	---	7 件
		つなぎ	様々な支援を必要としながらも、何らかの事情によってつながっていない家庭に対する支援制度・機関へのつなぎの効果がどの程度あったか	事例記述、該当事例のカウン	---	12 件
		ヤングケアラー	ヤングケアラーに該当する子どもの発見や見守りの効果はどの程度あったか	事例記述、該当事例のカウン		4 件
保護者の 視点	保護者の 視点	経済的負担の 軽減	家計のやりくりが楽になったか	保護者アンケート(肯定回答割合)	70%	100%
		精神的負担の 軽減	子育ての悩みが軽くなったか	保護者アンケート(肯定回答割合)	70%	100%
		生活上の課題	生活の問題が軽くなったか	保護者アンケート(肯	70%	100%

		の改善		定回答割合)		
		必要な社会資源へのつなぎ	自分が必要とする支援制度や相談機関などにつながる事ができたか	保護者アンケート(肯定回答割合)	70%	100%
	満足度	支援員の対応	支援員はマナー・礼儀がきちんとしていたか	保護者アンケート(肯定回答割合)	90%	100%
		支援員の対応	支援員は保護者の悩みを受容していたか	保護者アンケート(肯定回答割合)	90%	100%
		継続希望	この事業を続ける場合継続して利用したいと思うか	保護者アンケート(肯定回答割合)	90%	100%

<太白区>

観点	要素	指標	定義	測定方法	目標値	実績
アウトプット	量的要素	利用者実数	当事業を利用した世帯数、児童数	記録表による集計	---	27 世帯
		延訪問支援数	当事業により訪問を行った延件数	記録表による集計	500 件	506 件
アウトカム	自治体の視点	発見	養育上の課題を抱えていながら、周囲から気づかれていない家庭の発見効果がどの程度あったか	事例記述、該当事例のカウン	---	5 件
		情報収集	関係機関が把握していない生活状況等の情報を把握する効果がどの程度あったか	事例記述、該当事例のカウン	---	20 件
		安全確認	虐待や自殺企図等のリスクの高い世帯の見守り効果がどの程度あったか	事例記述、該当事例のカウン	---	16 件
		つなぎ	様々な支援を必要としながらも、何らかの事情によってつながっていない家庭に対する支援制度・機関へのつなぎの効果がどの程度あったか	事例記述、該当事例のカウン	---	12 件
		ヤングケアラー	ヤングケアラーに該当する子どもの発見や見守りの効果がどの程度あったか	事例記述、該当事例のカウン	---	6 件
	保護者の視点	経済的負担の軽減	家計のやりくりが楽になったか	保護者アンケート(肯定回答割合)	70%	100%
精神的負担の軽減		子育ての悩みが軽くなったか	保護者アンケート(肯定回答割合)	70%	90%	
生活上の課題の改善		生活の問題が軽くなったか	保護者アンケート(肯定回答割合)	70%	100%	

		必要な社会資源へのつなぎ	自分が必要とする支援制度や相談機関などにつながることはできたか	保護者アンケート(肯定回答割合)	70%	100%
満足度		支援員の対応	支援員はマナー・礼儀がきちんとしていたか	保護者アンケート(肯定回答割合)	90%	100%
		支援員の対応	支援員は保護者の悩みを受容していたか	保護者アンケート(肯定回答割合)	90%	100%
		継続希望	この事業を続ける場合継続して利用したいと思うか	保護者アンケート(肯定回答割合)	90%	100%

事業名	10. 涌谷町支援対象児童等見守り強化事業(わく德利)
事業目的	食品を活用して要保護児童等への訪問支援をすることで、行政ではつながらない、対応しきれない家庭の見守りを行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象:涌谷町に居住する未就学児～高校生年代の子どものいる家庭</li> <li>定期的な食品提供をキッカケにした訪問支援による子どもの見守り、保護者の相談支援等</li> </ul>
今期の主要目標 (定量・定性)	■ 別紙事業目標
実施結果	■ 下記参照
備考	

観点	要素	指標	定義	測定方法	目標値	実績
アウトプット	量的要素	利用者実数	当事業を利用した世帯数、児童数	記録表による集計	15世帯	18世帯
		経済的負担の軽減	家計のやりくりが楽になったか	保護者アンケート(肯定回答割合)	70%	100%
アウトカム	生活の支援	生活上の課題の改善	必要な情報を得ることができたか	保護者アンケート(肯定回答割合)	70%	85%
		食品の内容	食品は役立つ内容だったか	保護者アンケート(肯定回答割合)	70%	100%
	支援員の対応	支援員の対応	支援員はマナー・礼儀がきちんとしていたか	保護者アンケート(肯定回答割合)	90%	92%
		支援員の対応	支援員は保護者の悩みを受容していたか	保護者アンケート(肯定回答割合)	90%	100%

事業名	11. フードバンクプラアス
事業目的	既存事業の利用者に対して食品の提供を通して訪問等を行うことにより、つながりの再構築や利用者の生活状態の把握などを行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食品、家電等の寄付での受け入れ</li> <li>・ 原則当法人の既存事業の利用者に対する訪問による食品提供及び見守り等支援</li> </ul>
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 支援件数:120 件以上(仙台市内)</li> <li>■ 食品受入件数:90 件以上</li> </ul>
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 支援件数:112 件</li> <li>■ 食品受入件数:103 件</li> </ul>
備考	<p>上記の他、プラアスパントリーとして、仙台市内の中学生がいる生活保護受給家庭、児童扶養手当全部支給家庭に対して、食品配布を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配布世帯数:214 世帯 703 名</li> <li>・ 予算額:2,592,000 円</li> </ul>

事業名	12. 仙台市ふれあい広場サテライト
事業目的	不登校や中退などで居場所のない子どもたちとつながり、生存保障、発達保障、社会参加を実現する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象:仙台市内に居住する小学校5年生～20歳程度(仙台市外も参加可能)</li> <li>3拠点(東口、泉中央、長町)での居場所の開設、訪問支援、就労支援等</li> </ul>
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>別紙事業目標</li> <li>職員意識調査:領域平均各項目 4.0 点以上</li> </ul>
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>下記参照</li> <li>職員意識調査:4.4(6月)、4.5(12月) ※ケアハウス含む</li> </ul>
備考	取り組みテーマ:フィロソフィー・クレドの浸透(新旧スタッフともに意識できる状態)

観点	要素	指標	定義	測定方法	目標値	実績
アウトプット	拠点運営	参加者数	何人の対象者が登録したか	参加者リストへの記録	140人	130人
		アウトリーチ件数	延べ何人に対してアウトリーチを行ったか	参加者リストへの記録	288人	78人
		開催回数	延べ何回(日)の活動を行なったか	記録表による集計	600日	611日
		1日当たり利用者数	1日当たり何人が利用したか	記録表による集計	10人	7.9人
	ボランティア	参加ボランティア数	何人のボランティアが参加したか	ボランティアリストによる集計	30人	43人
		ボランティア参加時間	延べ何時間のボランティアが参加したか	記録表による集計	1,000時間	923時間
		研修会開催回数	ボランティア・スタッフ向けのフォローアップ研修会を何回開催したか	記録表による集計	4回	4回
体験プログラム	プログラム開催回数	体験プログラムをいくつ開催したか	記録表による集計	18件	41件	
保護者支援	保護者の面談件数	保護者に対して、何件の面談を行なったか	記録表による集計	400件	579件	
アウトカム	生存保障	安心の提供	自分はここにいってもいいという安心感を感じることができた	参加者アンケート (肯定回答割合)	70%	83.3%
		サインのキャッチ	家庭や生活の困りごとをスタッフに相談することができた		70%	59.7%
		心理的な回復	この場所ですれ違った仲間やスタッフのおかげで気持ちが楽になった		70%	83.3%
	発達保障	興味関心の醸成	自分が関心を持てることを見つげられた		70%	68.1%
		対人関係の自信	人との関わりに自信を持てるようになった		70%	58.3%
		知識の習得	新しい知識を身につけたり、できると思えることが増えた		70%	77.8%
	参加保障	意見の反映	スタッフたちは、自分たちの意見をくみ取り、運営に反映してくれた		70%	83.3%
		オーナーシップの実感	自分たちで活動をつくっているという実感を持つことができた		70%	54.2%
		イベントへの参加	自分が関心を持てるイベントに参加することができた		70%	83.3%
	満足度	対等な関係	スタッフは自分の意見や価値観を押し付けずに、対等に関わってくれた		70%	87.5%
サポートへの満足度		スタッフ・ボランティアは信用することができた	70%	87.5%		
活動への満足度		この事業に参加してよかった	70%	87.5%		

事業名	13. たがじょう子どもの心のケアハウス
事業目的	不登校で居場所のない子どもたちとつながり、生存保障、発達保障、社会参加を実現する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象:多賀城市内に居住する不登校の小中学生</li> <li>多賀城市内 1 カ所のケアハウス運営、訪問支援、まなび支援教室への支援員派遣(4 中学校)</li> </ul>
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 別紙事業目標</li> <li>■ 職員意識調査:領域平均各項目 4.0 以上</li> </ul>
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 下記参照</li> <li>■ 職員意識調査:4.4(6月)、4.5(12月) ※ふれひろ含む</li> </ul>
備考	取り組みテーマ:フィロソフィー・クレドの浸透(新旧スタッフともに意識できる状態)

観点	要素	指標	定義	測定方法	目標値	実績
アウトプット	拠点運営	参加者数	何人の対象者が登録したか	参加者リストへの記録	20人	32人
		アウトリーチ件数	延べ何人に対してアウトリーチを行ったか	参加者リストへの記録	48人	42人
		開催回数	延べ何回(日)の活動を行なったか	記録表による集計	230日	237日
		1日当たり利用者数	1日当たり何人が利用したか	記録表による集計	8人	8.5人
	ボランティア	参加ボランティア数	何人のボランティアが参加したか	ボランティアリストによる集計	10人	15人
		ボランティア参加時間	延べ何時間のボランティアが参加したか	記録表による集計	400時間	367.5時間
		研修会開催回数	ボランティア・スタッフ向けのフォローアップ研修会を何回開催したか	記録表による集計	4回	4回
体験プログラム	プログラム開催回数	体験プログラムをいくつ開催したか	記録表による集計	18件	29件	
保護者支援	保護者の面談件数	保護者に対して、何件の面談を行なったか	記録表による集計	200件	293件	
アウトカム	生存保障	安心の提供	自分はここにいってもいいという安心感を感じることができた	参加者アンケート (肯定回答割合)	70%	83.3%
		サインのキャッチ	家庭や生活の困りごとをスタッフに相談することができた		70%	66.7%
		心理的な回復	この場所ですれ違った仲間やスタッフのおかげで気持ちが楽になった		70%	83.3%
	発達保障	興味関心の醸成	自分が関心を持てることを見つけられた		70%	79.2%
		対人関係の自信	人との関わりに自信を持てるようになった		70%	62.5%
		知識の習得	新しい知識を身につけたり、できると思えることが増えた		70%	66.7%
	参加保障	意見の反映	スタッフたちは、自分たちの意見をくみ取り、運営に反映してくれた		70%	66.7%
		オーナーシップの実感	自分たちで活動をつくっているという実感を持つことができた		70%	66.7%
		イベントへの参加	自分が関心を持てるイベントに参加することができた		70%	62.5%
	満足度	対等な関係	スタッフは自分の意見や価値観を押しつげずに、対等に関わってくれた		70%	95.8%
		サポートへの満足度	スタッフ・ボランティアは信用することができた		70%	87.5%
		活動への満足度	この事業に参加してよかった		70%	91.7%

事業名	14. 多賀城こども食堂
事業目的	食事を通して生活に困窮する子育て家庭とつながり、ピアサポートや必要な支援へのつながりを行う。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理活動を含めた食事提供、保護者同士のコミュニケーションの場づくり(月2回、多賀城駅付近1ヶ所での開催)</li> <li>対象:ひとり親家庭や生活保護家庭などの生活困窮世帯の子ども、保護者</li> </ul>
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 開催回数 24 回以上</li> <li>■ 1 回あたり利用者数:10 人以上</li> <li>■ ボランティア参加時間:100 時間以上</li> </ul>
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 開催回数 23 回</li> <li>■ 1 回あたり利用者数:4.9 人(延参加 112 人)</li> <li>■ ボランティア参加時間:163 時間</li> </ul>
備考	



事業名	15. 仙台市・宮城県ヤングケアラーピアサポート・オンラインサロン事業
事業目的	ヤングケアラーの相談支援体制の構築、気軽に相談できる場をつくる。
事業内容	支援連絡会の運営、ピアサポーターの発掘育成、オンラインサロンの開催 (Twitter 相談窓口)
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 支援連絡会の運営: 2 回</li> <li>■ ピアサポーターの発掘・育成: 10 人</li> <li>■ 学校等へのアウトリーチ: セミナー(教員・児童) 8 校・校内サロン 3 校</li> <li>■ ケースワーク: 30 件</li> <li>■ オンライン(対面)サロン: 2 回</li> <li>■ Twitter 相談: 5 件</li> <li>■ Twitter・ウェブサイト情報発信: 週 1 回程度</li> </ul>
実施結果	■ 下記参照
備考	

<仙台市>

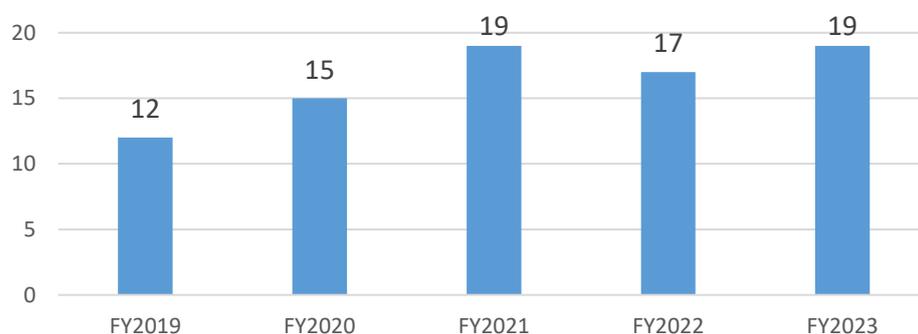
項目	実績	備考
ピアサポーターの人数	10 人	
相談件数(学校・関係機関より)	1 件	
相談件数(SNS 経由、本人より)	9 件(延数)	
オンラインサロンの参加人数	18 人(延数)	ピアサポーター含む (合計 2 回開催)
学校等へのアウトリーチ 児童・生徒向けセミナー	2 件	・荒井児童館啓発イベント ・仙台城南高校での啓発動画上映
学校等へのアウトリーチ 校内サロン	3 校(計 9 回)	
法人内ケースワーク	50 件	
(その他)研修講話・実践発表等による地域・関係機関への啓発	7 件	委託事業外の参考実績

<宮城県> ※仙台市と重複有

<項目>	実績	備考
相談件数(SNS 経由、本人より)	9 件(延数)	
相談件数(学校・関係機関より)	1 件	
ピアサポーターの人数	10 人	
オンラインサロンの参加人数	18 人(延数)	ピアサポーター含む(合計 2 回開催)
(その他)メディア掲載	5 件	委託事業外の参考実績
(その他)研修講話・実践発表等による地域・関係機関への啓発	7 件	委託事業外の参考実績

事業名	16. アスイク保育園宮城野通駅前				
事業目的	<table border="1"> <tr> <td>保育理念</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な関係性の中で、子どもを育む。</li> <li>○子どもの最善の利益を尊重し、改善し続ける。</li> <li>○子どもだけではなく、家庭も支える。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>保育方針</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○一律的なかわりではなく、発達過程に応じた個別対応をします。</li> <li>○子どもの安全・快適な環境づくりに努めます。</li> <li>○子どもをありのままに受け入れ、自尊心の醸成に努めます。</li> <li>○様々な人とのかわりの中で、子どもの社会性を育みます。</li> <li>○様々な物事への興味、感受性、表現力を育みます。</li> </ul> </td> </tr> </table>	保育理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な関係性の中で、子どもを育む。</li> <li>○子どもの最善の利益を尊重し、改善し続ける。</li> <li>○子どもだけではなく、家庭も支える。</li> </ul>	保育方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一律的なかわりではなく、発達過程に応じた個別対応をします。</li> <li>○子どもの安全・快適な環境づくりに努めます。</li> <li>○子どもをありのままに受け入れ、自尊心の醸成に努めます。</li> <li>○様々な人とのかわりの中で、子どもの社会性を育みます。</li> <li>○様々な物事への興味、感受性、表現力を育みます。</li> </ul>
保育理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な関係性の中で、子どもを育む。</li> <li>○子どもの最善の利益を尊重し、改善し続ける。</li> <li>○子どもだけではなく、家庭も支える。</li> </ul>				
保育方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一律的なかわりではなく、発達過程に応じた個別対応をします。</li> <li>○子どもの安全・快適な環境づくりに努めます。</li> <li>○子どもをありのままに受け入れ、自尊心の醸成に努めます。</li> <li>○様々な人とのかわりの中で、子どもの社会性を育みます。</li> <li>○様々な物事への興味、感受性、表現力を育みます。</li> </ul>				
事業内容	企業主導型保育園(定員 19 名)				
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 登録園児数:19 名</li> <li>■ 職員意識調査:領域平均各項目:4.0 以上</li> <li>■ 利用者満足度調査:領域平均各項目:4.0 以上</li> </ul>				
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 登録園児数:19 名</li> <li>■ 職員意識調査:領域平均各項目 4.7(6 月)、4.2(12 月)</li> <li>■ 利用者満足度調査:領域平均各項目:4.9</li> </ul>				
備考	取り組みテーマ:保育リーダーの育成(理念理解、保護者支援、ローキャリアの育成)				

### <登録者数の推移>



### <利用者満足度調査の結果>

■ 集計単位			■ 領域平均			当該集計単位	全社	全社との比較	2023年3月	前年からの変化	2022年3月	2021年3月
アスイク保育園 宮城野通駅前園			(回答者数)	16	113				12		11	11
<読み方の注意点>			職員の対応	4.9	4.5	0.4			5.0	-0.1	4.9	4.7
<ul style="list-style-type: none"> <li>・得点の高い低いだけを見るのではなく、数字が表している状況を考えながら読んでください。</li> <li>・領域平均は、各領域に紐づく要素の得点を平均した数字です。</li> <li>・各要素の得点は、回答者の回答(1~5)の平均です。3.5以上:緑、4.0以上:青、2.5以下:赤に色付けされています。</li> </ul>			運営内容	4.8	4.5	0.3			4.9	-0.1	4.7	4.7
■ 項目得点			総合満足度	4.9	4.6	0.4			5.0	-0.1	4.9	4.5
領域	No.	要素	設問	当該集計単位	全社	全社との比較	2023年3月	前年からの変化	2022年3月	2021年3月		
職員の対応	1	マナー	職員のあいさつや言葉遣いなどのマナーはきちんとしていた	4.9	4.7	0.3	5.0	-0.1	4.8	4.7		
	2	関係構築	職員は、保護者が気軽に相談しやすい関係をつくっていた	4.9	4.5	0.5	5.0	-0.1	5.0	4.7		
	3	問題解決	職員は、保護者が悩みや困りごとを抱えている時に、解決策を一緒に考えてくれた	4.9	4.3	0.6	5.0	-0.1	5.0	4.6		
運営内容	4	情報発信	この施設は、おたよりなどを通じて有益な情報を正確・迅速に発信していた	4.7	4.5	0.2	4.8	-0.1	4.6	4.7		
	5	負担軽減	この施設は、保護者の負担が軽くなるように配慮していた	4.8	4.3	0.4	4.9	-0.2	4.5	4.6		
	6	清掃整頓	この施設は、清掃や整頓が行き届いていた	4.7	4.6	0.1	5.0	-0.3	4.7	4.8		
	7	安心安全	この施設は、お子様が安心・安全に過ごせる環境をつくっていた	5.0	4.6	0.4	4.9	0.1	4.8	4.6		
	8	成長機会	この施設は、お子様の成長につながる機会をつくっていた	4.9	4.6	0.3	5.0	-0.1	4.8	4.6		
総合満足度	9	紹介意向	この施設を知り合いの保護者にも紹介したい	4.9	4.6	0.4	5.0	-0.1	4.9	4.5		

事業名	17. アスイク保育園薬師堂前				
事業目的	<table border="1"> <tr> <td>保育理念</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な関係性の中で、子どもを育む。</li> <li>○子どもの最善の利益を尊重し、改善し続ける。</li> <li>○子どもだけではなく、家庭も支える。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>保育方針</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○一律的なかわりではなく、発達過程に応じた個別対応をします。</li> <li>○子どもの安全・快適な環境づくりに努めます。</li> <li>○子どもをありのままに受け入れ、自尊心の醸成に努めます。</li> <li>○様々な人とのかわりの中で、子どもの社会性を育みます。</li> <li>○様々な物事への興味、感受性、表現力を育みます。</li> </ul> </td> </tr> </table>	保育理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な関係性の中で、子どもを育む。</li> <li>○子どもの最善の利益を尊重し、改善し続ける。</li> <li>○子どもだけではなく、家庭も支える。</li> </ul>	保育方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一律的なかわりではなく、発達過程に応じた個別対応をします。</li> <li>○子どもの安全・快適な環境づくりに努めます。</li> <li>○子どもをありのままに受け入れ、自尊心の醸成に努めます。</li> <li>○様々な人とのかわりの中で、子どもの社会性を育みます。</li> <li>○様々な物事への興味、感受性、表現力を育みます。</li> </ul>
保育理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な関係性の中で、子どもを育む。</li> <li>○子どもの最善の利益を尊重し、改善し続ける。</li> <li>○子どもだけではなく、家庭も支える。</li> </ul>				
保育方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一律的なかわりではなく、発達過程に応じた個別対応をします。</li> <li>○子どもの安全・快適な環境づくりに努めます。</li> <li>○子どもをありのままに受け入れ、自尊心の醸成に努めます。</li> <li>○様々な人とのかわりの中で、子どもの社会性を育みます。</li> <li>○様々な物事への興味、感受性、表現力を育みます。</li> </ul>				
事業内容	仙台市小規模認可保育事業(定員 12 名)				
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 登録園児数:12 名</li> <li>■ 途中退園:0 名</li> <li>■ 職員意識調査:領域平均各項目:4.0 以上</li> <li>■ 利用者満足度調査:領域平均各項目:4.0 以上</li> <li>■ コンピ・バリューの浸透、アスイク・薬師堂園らしい園づくり</li> </ul>				
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 登録園児数:14 名</li> <li>■ 途中退園:0 名</li> <li>■ 職員意識調査:領域平均各項目:3.6(6 月)、3.4(12 月)</li> <li>■ 利用者満足度調査:領域平均各項目:4.8</li> </ul>				
備考					

### <登録者数の推移>



### <利用者満足度調査の結果>

#### ■ 集計単位

アスイク保育園 薬師堂前園

#### <読み方の注意点>

・得点の高い低いだけを見るのではなく、数字が表している状況を考えながら読んでください。  
 ・領域平均は、各領域に紐づく要素の得点を平均した数字です。  
 ・各要素の得点は、回答者の回答(1~5)の平均です。3.5以上:緑、4.0以上:青、2.5以下:赤に色付けされています。

#### ■ 領域平均

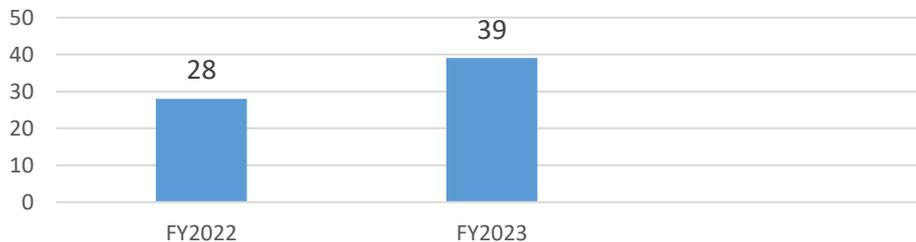
当該集計単位	全社	全社との比較	2023年3月	前年からの変化	2022年3月	2021年3月
(回答者数)	7	113	8		8	8
職員の対応	4.7	4.5	4.2	0.5	4.6	4.3
運営内容	4.7	4.5	3.9	0.9	4.8	4.6
総合満足度	4.9	4.6	3.8	1.1	4.5	4.4

#### ■ 項目得点

領域	No.	要素	設問	当該集計単位	全社	全社との比較	2023年3月	前年からの変化	2022年3月	2021年3月
職員の対応	1	マナー	職員のあいさつや言葉遣いなどのマナーはきちんとしていた	4.9	4.7	0.2	4.4	0.5	4.5	4.5
	2	関係構築	職員は、保護者が気軽に相談しやすい関係をつくっていた	4.7	4.5	0.2	4.4	0.3	4.8	4.5
	3	問題解決	職員は、保護者が悩みや困りごとを抱えている時に、解決策を一緒に考えてくれた	4.4	4.3	0.1	3.9	0.6	4.6	4.0
運営内容	4	情報発信	この施設は、おたよりなどを通じて有益な情報を正確・迅速に発信していた	4.6	4.5	0.1	3.6	0.9	4.9	4.5
	5	負担軽減	この施設は、保護者の負担が軽くなるように配慮していた	4.9	4.3	0.5	3.8	1.1	4.6	4.1
	6	清掃整頓	この施設は、清掃や整頓が行き届いていた	5.0	4.6	0.4	3.9	1.1	4.9	4.6
	7	安心安全	この施設は、お子様が安心・安全に過ごせる環境をつくっていた	4.6	4.6	0.0	4.0	0.6	4.8	4.8
	8	成長機会	この施設は、お子様の成長につながる機会をつくっていた	4.7	4.6	0.1	4.1	0.6	4.9	4.8
総合満足度	9	紹介意向	この施設を知り合いの保護者にも紹介したい	4.9	4.6	0.3	3.8	1.1	4.5	4.4

事業名	18. アスイク保育園中田町				
事業目的	<table border="1"> <tr> <td>保育理念</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な関係性の中で、子どもを育む。</li> <li>○子どもの最善の利益を尊重し、改善し続ける。</li> <li>○子どもだけではなく、家庭も支える。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>保育方針</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○一律的なかかわりではなく、発達過程に応じた個別対応をします。</li> <li>○子どもの安全・快適な環境づくりに努めます。</li> <li>○子どもをありのままに受け入れ、自尊心の醸成に努めます。</li> <li>○様々な人とのかかわりの中で、子どもの社会性を育みます。</li> <li>○様々な物事への興味、感受性、表現力を育みます。</li> </ul> </td> </tr> </table>	保育理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な関係性の中で、子どもを育む。</li> <li>○子どもの最善の利益を尊重し、改善し続ける。</li> <li>○子どもだけではなく、家庭も支える。</li> </ul>	保育方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一律的なかかわりではなく、発達過程に応じた個別対応をします。</li> <li>○子どもの安全・快適な環境づくりに努めます。</li> <li>○子どもをありのままに受け入れ、自尊心の醸成に努めます。</li> <li>○様々な人とのかかわりの中で、子どもの社会性を育みます。</li> <li>○様々な物事への興味、感受性、表現力を育みます。</li> </ul>
保育理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な関係性の中で、子どもを育む。</li> <li>○子どもの最善の利益を尊重し、改善し続ける。</li> <li>○子どもだけではなく、家庭も支える。</li> </ul>				
保育方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一律的なかかわりではなく、発達過程に応じた個別対応をします。</li> <li>○子どもの安全・快適な環境づくりに努めます。</li> <li>○子どもをありのままに受け入れ、自尊心の醸成に努めます。</li> <li>○様々な人とのかかわりの中で、子どもの社会性を育みます。</li> <li>○様々な物事への興味、感受性、表現力を育みます。</li> </ul>				
事業内容	仙台市認可保育所				
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 登録園児数:39名</li> <li>■ 途中退園:0名</li> <li>■ 職員意識調査:領域平均各項目:4.0以上</li> <li>■ 利用者満足度調査:領域平均各項目:4.0以上</li> </ul>				
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 登録園児数:39名</li> <li>■ 途中退園:0名</li> <li>■ 職員意識調査:領域平均各項目:3.8(6月)、3.5(12月)</li> <li>■ 利用者満足度調査:領域平均各項目:4.8</li> </ul>				
備考	取り組みテーマ:職員同士での情報共有の円滑化				

### <登録者数の推移>



### <利用者満足度調査の結果>

#### ■ 集計単位

アスイク保育園 中田町園

#### <読み方の注意点>

・得点の高い低いだけを見るのではなく、数字が表している状況を考えながら読んでください。  
 ・領域平均は、各領域に紐づく要素の得点を平均した数字です。  
 ・各要素の得点は、回答者の回答（1～5）の平均です。3.5以上：緑、4.0以上：青、2.5以下：赤に色付けされています。

#### ■ 領域平均

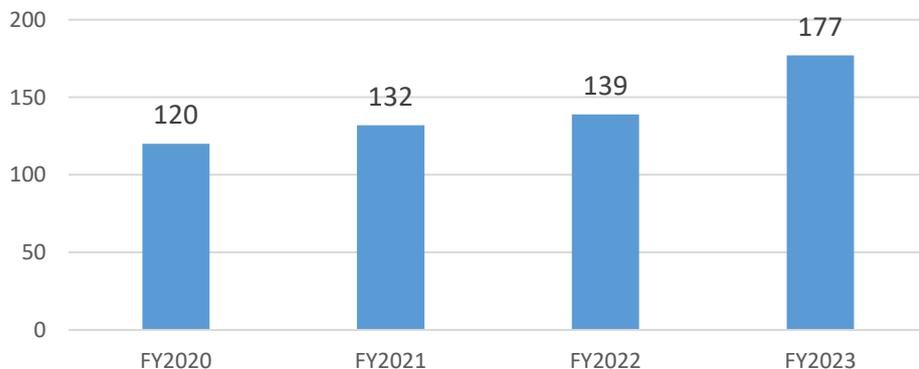
	当該集計単位	全社	全社との比較	2023年3月	前回からの変化
(回答者数)	27	113		18	
職員の対応	4.8	4.5	0.3	4.6	0.1
運営内容	4.7	4.5	0.2	4.6	0.1
総合満足度	4.9	4.6	0.3	4.6	0.3

#### ■ 項目得点

領域	No.	要素	設問	当該集計単位	全社	全社との比較	2023年3月	前回からの変化
職員の対応	1	マナー	職員のあいさつや言葉遣いなどのマナーはきちんとしていた	4.9	4.7	0.2	4.7	0.2
	2	関係構築	職員は、保護者が気軽に相談しやすい関係をつくっていた	4.8	4.5	0.3	4.7	0.1
	3	問題解決	職員は、保護者が悩みや困りごとを抱えている時に、解決策を一顧に考えてくれた	4.6	4.3	0.3	4.5	0.1
運営内容	4	情報発信	この施設は、おたよりなどを通じて有益な情報を正確・迅速に発信していた	4.7	4.5	0.3	4.8	0.0
	5	負担軽減	この施設は、保護者の負担が軽くなるように配慮していた	4.5	4.3	0.2	4.4	0.1
	6	清掃整頓	この施設は、清掃や整頓が行き届いていた	4.6	4.6	0.0	4.7	-0.1
	7	安心安全	この施設は、お子様が安心・安全に過ごせる環境をつくっていた	4.8	4.6	0.2	4.6	0.2
総合満足度	8	成長機会	この施設は、お子様の成長につながる機会をつくっていた	4.9	4.6	0.2	4.6	0.2
	9	紹介意向	この施設を知り合いの保護者にも紹介したい	4.9	4.6	0.3	4.6	0.3

事業名	19. 仙台市荒井児童館
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会ではぐくむ</li> <li>地域で見守る</li> <li>特に困難を抱える子どもの受け止めを大切にする</li> </ul>
事業内容	放課後児童健全育成事業(児童クラブ)、児童健全育成事業、子育て家庭支援事業、地域交流推進事業
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域連携によるプログラム:12 件以上</li> <li>■ ボランティア延べ参加時間:700 時間以上</li> <li>■ 職員意識調査:領域平均各項目:4.0 以上</li> <li>■ 利用者満足度調査:領域平均各項目:4.0 以上</li> </ul>
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域連携によるプログラム:27 件</li> <li>■ ボランティア延べ参加時間:500 時間</li> <li>■ 職員意識調査:領域平均各項目:4.0(6 月)、4.2(12 月)</li> <li>■ 利用者満足度調査:領域平均各項目:4.3</li> </ul>
備考	取り組みテーマ:記録等のデジタル化、こどもの意見反映の仕組み、中高生の利用促進

### <利用者数の推移 ※児童クラブ>



### <利用者満足度調査の結果>

■ 集計単位		■ 領域平均			当該集計単位	全社	全社との比較	2023年3月	前年からの変化	2022年3月	2021年3月
荒井児童館		(回答者数)	63	113			60		26	46	
<読み方の注意点>		職員の対応	4.2	4.5	-0.2	4.5	-0.2	4.5	4.5		
<small>・得点の高い低いだけを見るのではなく、数字が表している状況を考えながら読んでください。          ・領域平均は、各領域に紐づく要素の得点を平均した数字です。          ・各要素の得点は、回答者の回答(1~5)の平均です。3.5以上:緑、4.0以上:青、2.5以下:赤に色付けされています。</small>		運営内容	4.4	4.5	-0.2	4.6	-0.2	4.5	4.5		
■ 項目得点		総合満足度	4.3	4.6	-0.2	4.6	-0.2	4.3	4.3		
領域	No.	要素	設問	当該集計単位	全社	全社との比較	2023年3月	前年からの変化	2022年3月	2021年3月	
職員の対応	1	マナー	職員のあいさつや言葉遣いなどのマナーはきちんとしていた	4.5	4.7	-0.2	4.7	-0.1	4.7	4.7	
	2	関係構築	職員は、保護者が気軽に相談しやすい関係をつくっていた	4.2	4.5	-0.3	4.5	-0.3	4.5	4.5	
	3	問題解決	職員は、保護者が悩みや困りごとを抱えている時に、解決策を一筋に考えてくれた	4.0	4.3	-0.3	4.2	-0.2	4.3	4.2	
運営内容	4	情報発信	この施設は、おたよりなどを通じて有益な情報を正確・迅速に発信していた	4.3	4.5	-0.2	4.4	-0.1	4.2	4.5	
	5	負担軽減	この施設は、保護者の負担が軽くなるように配慮していた	4.1	4.3	-0.2	4.4	-0.3	4.4	4.3	
	6	清掃整頓	この施設は、清掃や整頓が行き届いていた	4.6	4.6	-0.1	4.7	-0.1	4.8	4.8	
	7	安心安全	この施設は、お子様が安心・安全に過ごせる環境をつくっていた	4.4	4.6	-0.2	4.6	-0.2	4.7	4.5	
総合満足度	8	成長機会	この施設は、お子様の成長につながる機会をつくっていた	4.4	4.6	-0.2	4.7	-0.3	4.6	4.4	
	9	紹介意向	この施設を知り合いの保護者にも紹介したい	4.3	4.6	-0.2	4.6	-0.2	4.3	4.3	

事業名	20. 仙台市市民協働事業提案制度
事業目的	効率的・効果的に高等学校等中退率を改善するために、被保護者世帯を中心にデータに基づいた分析を行い、高等学校等中退を予防するために階層化・ハイリスク者を抽出する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活保護世帯の量的・質的分析(東北大学と協働)</li> <li>分析結果をもとにした支援プログラムの検討・試行</li> </ul>
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 泉区生活保護世帯のデータ分析に基づいた中退者の分析レポートの完成</li> <li>■ 上記分析に基づいた支援プログラムの企画・実施</li> </ul>
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 泉区を対象としたため調査対象となるサンプル数が極端に少なく、当初想定していた定量データによる分析は有意な情報を抽出することが難しく、インタビュー調査も協力者の確保に苦慮した。</li> <li>■ 保護課ケースワーカーと当法人の相談支援スタッフの意見交換の実施により、被保護高校生の実態の共通認識を作ることができた点は当該ケースワーカーたちからの評価も高かった。</li> </ul>
備考	



**インタビュー調査**

**調査方法**

調査対象は、生活保護世帯に所在する高校生(2019年10月現在)を対象として調査を行った。また、そのうち生活保護世帯に所在する高校生(2019年10月現在)を対象として調査を行った。調査対象は、生活保護世帯に所在する高校生(2019年10月現在)を対象として調査を行った。調査対象は、生活保護世帯に所在する高校生(2019年10月現在)を対象として調査を行った。

**調査結果**

| 調査対象 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 100% | 調査   |
| 100% | 調査   |
| 100% | 調査   |
| 100% | 調査   |
| 100% | 調査   |

**調査結果**

調査対象	調査対象	調査対象	調査対象	調査対象	調査対象
100%	調査	調査	調査	調査	調査
100%	調査	調査	調査	調査	調査
100%	調査	調査	調査	調査	調査
100%	調査	調査	調査	調査	調査
100%	調査	調査	調査	調査	調査

事業名	21. キントーン導入プロジェクト
事業目的	顧客管理システムを導入することで、事務作業の効率化、支援情報等の検索性の向上、事業間での情報共有の円滑化を実現する。
事業内容	外部アドバイザーの支援による kintone の導入・改善
今期の主要目標 (定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 学習・生活支援事業での導入完了(モニタリング・オンライン・月次シート自動転記)</li> <li>■ その他事業での導入完了</li> </ul>
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ほぼすべての事業において kintone への移行が完了し、業務効率化、個人情報取り扱いの適切化が進展した。</li> <li>■ 一部未完成となっている事業については、R6年度も外部アドバイザーとの契約を継続し、引き続き対応を行う。</li> </ul>
備考	